

第32回くまもと環境賞 受賞者一覧

名前	受賞状況	主な功績
株式会社谷川建設 熊本支店	部門賞 (くまもとゼロカーボン賞)	・平成21年より森林の維持保全とCO2削減を目的として、住宅に用いた木材分の苗木を毎年各森林組合に寄贈(約42000本)。当該苗木が植林されることで、約123.2t/年の二酸化炭素削減に貢献。(職員も植林活動を実施)
人吉アサノ電機 株式会社		・ピーク電力制御システムである「エレワイズ」を開発・販売し、電力消費量の削減に貢献。2014年の発売開始以来、全国380か所(うち熊本県178件)に導入。導入先全体で最大需要量電力削減累計10,581kw、CO2換算で1,092tを削減。 ・2005年から工場周辺の清掃活動を実施。17年間で回収したごみの総重量は約459キロ。
熊本農業高校畜産科 養豚プロジェクト	部門賞 (くまもと循環型社会賞)	・畜産業における飼料自給率の低下や食品廃棄量等の問題解決を目指しエコフィード(食品廃棄物を利用した家畜飼料)を開発。 ・エコフィードの普及により、食品廃棄物量を年間で250トン削減、活動を始めて現在までに約1,500トン削減した。 ・本来廃棄される豚肉のスライス加工を行う際に出る大量の脂身を利用した洗濯用石鹸の開発・製造・販売を実施。
公益財団法人 阿蘇グリーンストック	部門賞 (くまもと自然共生賞)	・「野焼き支援ボランティア」の登録・育成を通して、阿蘇の草原保全活動に努めている。 ・登録・育成した人材を、人手不足や高齢化によって、野焼きや輪地切りの持続が困難や牧野組合や地区へ野焼き作業や輪地切り(防火帯づくり)作業に派遣。 ・草千里(阿蘇)の野焼きにも熊本県と協力し、ボランティアを派遣している。
中村製材株式会社		・森林保護・森林保全を目的に活動。会社が保有する山林や熊本県のあっせんにより新たに取得した山林を間伐等により整備し、長期的な育林を目的に森林保全を行うとともに保安林の管理・保全を実施。
白川中流域 土地改良区協議会	部門賞 (くまもと水の国賞)	・熊本の地下水を保全するため、以下の取組を実施。 ①「水循環型営農推進運動」: 転作田における水田湛水の取組 ②「田んぼの学校」: 小学生を対象に、田んぼでの田植え・稲刈り等の農業体験を通して地下水保全の大切さを学ぶ ③「水源かん養林水土里ネットの森」の保全活動: 下流域へ安定的な農業用水の供給及び未来へきれいな水を確保する ・水田涵養の取組については、2021年度実績で参加人数342人、涵養面積362.5ha(延べ面積578.8ha)で水を張った結果、推定かん養量は、1,736万m ³ となる。
熊本県立 熊本工業高等学校 工業化学科	部門賞 (くまもと環境教育賞)	・「課題研究」という授業の中で13年間にわたり熊本市江津湖を中心とした「環境保全」地域貢献をテーマに活動を実施。活動のテーマは【①江津湖の外来水草の科学的有効利用法の研究】と【②江津湖におけるマイクロプラスチックの汚染調査】。①では、外来水草を用いた工業排水からの有価な金属の分離回収を研究。②では、江津湖の湖岸及び江津湖に流入する河川のマイクロプラスチックの個数を調査。
熊本県立 水俣高等学校		・普通科、商業科、機械科、電気建築システム科があり、各課の特徴を生かしたプロジェクトを立ち上げ実践する教育を実施。 ・電気システム建築科建築コースでは、地域の財産である水俣の豊かな自然の保全や、木材加工の高い技術力を伝承することを目的に、Wood Connect Projectを立ち上げ、地元の木材でベンチや資源箱を作成し市へ寄贈。また、再造林(皆伐・植林)を実施している(令和元年度～令和4年度までの4年間で72.03ha) ・機械科では、地元農家の鳥獣対策の負担軽減のため、箱罠やセンサーを作成し、寄贈。
南関町立 南関第二小学校	奨励賞 (くまもと環境教育賞)	・地域の自然環境を知り、環境保全について学び、実践する力を養うことを目的に、4年生の「総合的な学習の時間」の中で、ホテルの棲む環境を調べる活動・ホテルを幼虫から飼育する体験活動を実施。「鹿島建設技術研究所」が幼虫を小学校へ提供し、小学校の教室でホテルの幼虫を飼育。毎年約80匹を放流している。
株式会社 セイブクリーン	地域貢献賞	・ダンボールコンポストを用いた生ごみのたい肥化及び資源回収boxによるリサイクルの推進。 ・合志市の小学校へ「循環型社会の形成」や「ごみの分別・リサイクル」の出前環境教育。 ・自治体へのごみの分別リサイクルの推進活動。 ・平成22年度に、熊本県とロードクリーンボランティアに関する協定書を締結。年に1度の県内道路一斉清掃に参加。
熊本県立 第二高等学校		・理数科の高校1年生の課題研究として、「江津湖の生態調査」を行っている。生態調査を通して、データ収集・処理・分析する力の育成及び熊本県の水資源のあり方を考える機会を与えている。
玉名市立 玉陵小中学校 学校運営協議会		・「学校や地域を美しく、花いっぱいになりたい」を目標に、平成22年から環境スクールボランティアを開始。年間8回、小中学校環境委員会の年間計画に基づいた委員会活動の一環として実施。そのうち年2回は「おもてなしフラワープロジェクト」として、新玉名駅や熊本県北病院に花を提供し、プランターや花壇の世話、除草作業更には周辺の清掃活動も行っている。
河津造園株式会社	永年活動表彰	第19回くまもと環境賞(H22)を受賞した取組みである以下4つの事業を15年以上継続した。 ①ロードボランティア事業 ②木くずリサイクル事業 ③エコアクション21の登録内容に関する事業 ④木質ペレット製造事業(企業の諸事情により令和3年度をもって事業撤退)